

コピスは雑木林の意味。
 右の写真は映画の参加者。
 町の歴史を見守ってきた
 多福寺の雑木林の中で見せる
 みんなの笑顔は
 表紙のコピスのオブジェが
 成長し、草となり開花した
 『花』という芸術の形。
 ココロにピットスマイル。
 これからどんな『花』を
 コピスみよしが
 咲かせてくれるのか。
 さあ、
 ワクワク、ドキドキしませんか。



すべてがつながり、絡み合っている。

ワクワク、ドキドキ。

「ワクワク、ドキドキ」。
 その思いは“生きる力”として明日へと歩む力に。



― 特集 ― 芸術文化のまちづくり 終 ―

ココロにピットスマイル。

音 楽や歌舞伎、演劇などが芸術文化の全てではありません。料理を作り「こうしたらおいしそうに見えるかな？」と創造しながら盛り付けをすること。味は変わりません。口に入れば同じです。しかし手間をかけてそうするのは文化であり、芸術と言えます。

年齢や性別の区別なく芸術活動を通じ、人と人が楽しく生きていくためコピスみよしではいろいろな活動を進めています。幅広い世代が生活する町で、年長者の知識や経験、若い力・創造力、これらを掛け合わせれば人や町の大きな発展につながりますが、なかなかひとつになることができません。そこで必要なのが芸術文化であり、人と人の絆のもと、活力ある地域社会を実現していくことが心豊かなまちづくりと言えるのではないのでしょうか。

ロビーコンサートでは、気軽に芸術文化に触れ、その事業を後押ししていただける地元企業などのつながりができました。大観衆の前で町内の中学生がプロと共演し、演奏をするということは、三芳町から素敵な音楽家や芸術家が誕生することにつながるはずで、演奏を発表する、その演奏を鑑賞する、保護者や学校、

企業がサポートという形で参加する……。最初の見開きページには「発表・鑑賞・参加」そして育成、そのすべてが詰まっています。

映画プロジェクトのロケ地。イムス三芳総合病院、古田土フルートなど、ロビーコンサートやコピスみよしの事業を行うことで得た「つながり」。絡み合い、つながっているから「何か」が可能となり「何か」が生まれます。

―「ワクワク、ドキドキ」―
 何かを始めたとき、何かに触れたとき感じるこの気持ち。この気持ちを何かの形にしようと思うことが、芸術文化であり、その思いは“生きる力”として日常生活や明日へと歩む力となるはずで。

全国の多くの文化会館が、舞台芸術公演を実施することだけが目的となっている今。コピスみよしでは、「地域の芸術文化活動の振興を図る」ことを大切にして、三芳町ならではの、創造力豊かで魅力のある企画をしていきます。地域住民の皆さんに今を生きる力を与え、地域の発展や、心の豊かさにつながるように、町と指定管理者が協力していきます。

さあ、たくさん「ワクワク、ドキドキ」を感じてみませんか。